

# 輪状甲状靱帯穿刺の安全性と有用性に関する全国調査 について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

## 【本調査研究の目的】

気管食道科領域の日常診療で輪状甲状靱帯穿刺（特定の状況で気道確保をするために、喉の輪状甲状靱帯とよばれる部位を切開すること）が広く行われていますが、これまでその安全性や有用性に関する全国的な調査はほとんど行われておりません。今回の全国調査で輪状甲状靱帯穿刺の安全性、有用性を検証し、今後の診療に役立てます。

## 【対象】

当院で2010年1月1日から2021年12月31日までに輪状甲状靱帯穿刺を行なった患者さん。

## 【情報の利用目的及び利用方法】

輪状甲状靱帯穿刺の安全性、有用性を検証し、今後の診療に役立てます。

該当する患者さんのカルテから下記の調査項目を転記させていただきます。

提供を受けた個人情報を含む試料・情報は、研究責任者および研究分担者（設置している場合は個人情報分担管理者）が責任をもって管理し、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できない状態に加工したうえで、研究事務局（浜松医科大学 外科学第二講座）へ送られ、他のコンピューターと切り離され、インターネットへの接続が不可能な専用のコンピューターを用いて行い、当該情報をコンピューターの外部記憶装置に厳重に保管されます。

## 【調査項目】

- ・ 研究対象者背景：年齢、性別、輪状甲状靱帯穿刺目的・頻度、穿刺時術後日数、留置期間
- ・ 使用キット名
- ・ 穿刺に伴う合併症
- ・ 術後合併症

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

**【調査対象期間】**

2010年1月1日から2023年3月31日

**【利用する者の範囲】**

関西労災病院 消化器外科 益澤 徹、杉村啓二郎、勝山晋亮

**【試料・情報の管理について責任を有する者】**

浜松医科大学 外科学第二講座 竹内 裕也

**【研究期間】**

実施許可日から 2024 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

**【研究機関・組織】**

**【研究代表者】**

竹内 裕也

浜松医科大学 外科学第二講座

〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

TEL 053-435-2279

E-mail : booka@hama-med.ac.jp

**【研究事務局】**

坊岡 英祐

浜松医科大学 外科学第二講座

〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

TEL 053-435-2279

E-mail : booka@hama-med.ac.jp

**【当院の研究責任者】**

杉村啓二郎

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail : sugimura-keijiro@kansaih.johas.go.jp